

ひたちなか市立



としょかんだより

中央図書館 ひたちなか市元町5-3
Tel 029-273-2247
那珂湊図書館 ひたちなか市鍛冶屋窪3566
Tel 029-263-5499
佐野図書館 ひたちなか市高場1362-1
Tel 029-270-3811

<https://www.lib.hitachinaka.ibaraki.jp>

2022年2月号 No. 261

那珂湊図書館

申込・お問合せ 263-5499

※開催されるイベントはすべて『事前申込制』となっております。また、新型コロナウイルス感染拡大により、参加者を市内居住者に限定しております。



交通安全教室MMP'22

～としょかんで交通ルールを学んでミニポリスになろう～

(みなと・みに・ぼりす)

日時 2月26日(土) 午前10時～11時30分
場所 視聴覚室(1階)および敷地内駐車場
内容 交通安全紙芝居、腹話術人形けんちゃんと学ぶ交通ルール、パトカー乗車体験など
対象 幼児・小学生
定員 15名(先着順)※保護者を除く
申込 受付中



文芸らいぶ

朗読・語りの会「いっぽ!」の皆さんと劇団ACM塩谷亮氏による文芸作品の朗読会

日時 3月6日(日) 午後1時30分～
場所 視聴覚室(1階)
内容 山本一力「落語小説・井戸の茶碗」、芥川龍之介「蜘蛛の糸」
定員 15名(先着順)
申込 2月13日(日) 午前9時～ 電話または直接

佐野図書館

申込・お問合せ 270-3811



サンデーシアター

日時 2月13日(日) ①午前10時～ ②午後2時～
場所 視聴覚室(2階)
内容 『お料理帖 ～息子に遺す記憶のレシピ～』(103分)
定員 各回10名(先着順)
申込 2月4日(金) 午前9時～ 電話または直接



おはなしのかい

日時 2月25日(金) 午後3時30分～
場所 視聴覚室(2階)
内容 幼児向けのおはなしかい
対象 幼児・小学生および保護者
定員 8組(先着順)
申込 2月16日(水) 午前9時～ 電話または直接



こどもえいがかい

日時 3月5日(土) ①午前11時～ ②午後2時30分～
場所 視聴覚室(2階)
内容 アニメ『ハローキティのおやゆびひめ』(40分)
定員 各回10名(先着順)
申込 2月25日(金) 午前9時～ 電話または直接



えいが講演会『歴史映像作品の中の茨城』

～水戸黄門、忠臣蔵、座頭市などの時代劇を中心に語ります～

映画全般に精通する講師が、茨城に関わりのある歴史映像作品のその背景と舞台裏を独自の切り口、語り口で熱く語ります。また、県内の最新ロケ情報もご紹介いただきます。

日時 3月19日(土) 午後1時30分～3時30分
場所 視聴覚室(2階)
講師 谷田部 智章氏
(310+1 シネマプロジェクトスタッフ/筑波海軍航空隊記念館スタッフ)
定員 15名(先着順) 参加費 無料
申込 3月4日(金) 午前9時～ 電話または直接

2021佐野図書館手作りPOPコンテスト結果発表 !!

今年度で7回目となる佐野図書館POPコンテスト。応募作品43点の中から、「読んでみたい!」と意欲をかきたてられた作品を、利用者の皆さんに投票していただきました。ご協力ありがとうございました。コンテストで得票数の多かった上位入賞作品を発表します。POPで紹介されている本は、図書館で所蔵していますので、ぜひ借りてみてください。

上位入賞作品

最優秀賞

お父さんの特製カレー

カレーライス
重松 清

ぼくは悪くない。
だから 絶対に
「ごめんなさい」は言わない。
言うもんか、お父さん なんか。
カレーライスを通じて子どもの
成長を描いた、どリットと楽しくて
ほんのり甘い物語。

教科書で
おなじみの
九編の名作集

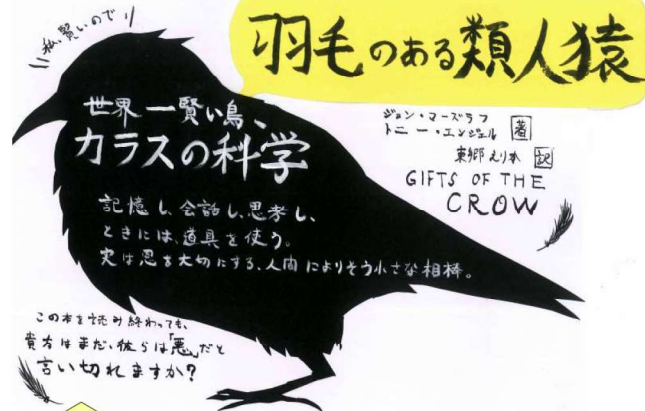
「おとやになっても
忘れない」
「あの場面の続きを
読みたかった」

102票獲得

POP製作者(ハンドルネーム):ペンネームなし
『カレーライス』(重松 清/著)

優秀賞

羽毛のある類人猿



75票獲得

POP製作者(ハンドルネーム):ゆーどん
『世界一賢い鳥、カラスの科学』
(ジョン・マーズラス/著)

佳作



68票獲得

POP製作者(ハンドルネーム):ココア
『星の王子さま』(サン＝テグジュペリ/著)

佳作



68票獲得

POP製作者(ハンドルネーム):あかはな
『しろくまのパンツ』(tuperatupera/作)

投票期間:令和3年10月29日(金曜日)~11月21日(日曜日) 投票協力者数:473人 投票総数:936票(1人2作品まで投票)

入賞者および参加者の皆様には賞状等を贈らせていただきました。
来年度もPOPコンテストを開催しますので振るってご応募下さい。



三館特集
震災メモリアル
 ~被災した方々の心に寄り添うこと~



甚大な被害を及ぼした東日本大震災から11年が経過しようとしています。この間、災害の凄まじさを伝える記録や復興に向けた取り組み、残されている課題など、さまざまな視点から数多くの書籍が刊行されました。

ここでは、被災地の復興が進む中で、被災者や遺族の方々の深い悲しみに向き合い、傷ついた心に寄り添うことをテーマとした3冊の本を紹介します。

『**かぜのでんわ**』

いもと ようこ／作・絵 金の星社 2014年2月

やまのうえに、せんのつながっていない1だいのでんわがおいてありました。
 このでんわは「もうあえなくなったひとに、じぶんのおもいをつたえる」ものといわれています。
 きょうもだれかがやってきました…。
 岩手県大槌町にある「風の電話」をもとにした絵本です。

【絵本】

中央	那珂湊	佐野
Eカ	Eカ	Eカ

『**心のおくりびと 東日本大震災 復元納棺師**』

今西 乃子／著 浜田 一男／写真 金の星社 2011年12月

東日本大震災の被災地で、津波によって命を奪われた数多くのご遺体と向き合い、生前の姿にもどしていくひとりの女性がいました。
 復元納棺師(ふくげんのうかんし)として、ご遺族との別れの瞬間を見届けてきた、笹原留以子さんの活動を記録した本です。



【児童書】

中央	那珂湊	佐野
369 イ	369 イ	369 イ

『**想像ラジオ**』

いとう せいこう／著 河出書房新社 2013年3月



草木も眠る深夜2時46分。海沿いの小さな町を見下ろす小山に生えている杉の木の上から、「想像力」という電波を通じてのみ聴くことができるラジオ番組「想像ラジオ」のオンエアを始めたDJアーク。
 軽快な語りと曲紹介の合間から匂わせる「死者の葛藤」に、想像のリスナーからも続々と反響が届けられ…。

【一般書】

中央	那珂湊	佐野
913 イウ	913 イウ	F イウ



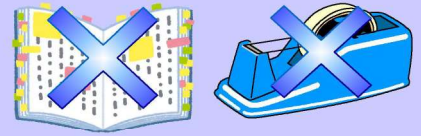
図書館の大切な仕事のひとつに、本の修理があります。
 図書館では、より多くの人に本を利用してもらえるように、迅速な修理を心掛けていますが、破損具合が激しい場合には、やむを得ず廃棄することもあります。
 ここでは、図書館での修理方法と本を破いてしまったときの注意点をお届けします。

図書館での修理方法

- ①さまざまな本の破れ方に応じて、本の構造や紙質に合った修理方法を適切に判断します。
 - ②破れた断面を整え、修理専用のテープやのりを使って貼りつけます。
 ページがとれている場合は、針と糸を使って縫い付けることもあります。
 - ③のりを使った場合は、乾くまでクリップ等で固定しておきます。
- *1日ほど置いて乾いたら本棚へ戻します。

☑もし、本を破いてしまったら？

ご自宅でのりやテープ・ふせんを貼るといった修理はせずに、そのままの状態でご返却してください。修理専用以外のテープは劣化して黄ばみ、べたつきが取れなくなってしまう、破損が進んでしまう場合があります。



第166回

芥川賞・直木賞

受賞作が決定しました

◆芥川賞

『ブラックボックス』砂川 文次/著

◆直木賞

『塞王の楯』今村 翔吾/著
 『黒牢城』米澤 穂信/著

著者のこれまでの作品を含めて、各館で特集しています。
 (※貸出中の場合は予約となります。)

としょかんカレンダー



2月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28					

3月

日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

■ は全館休館日です